

<目指すべき姿(目標・成果)>

- 首都圏に隣接する地理的条件・交通条件を生かし、県全体の復興を牽引する地域づくり【目標:サポート事業(一般枠)採択件数 33件(現状H26:30件)】
- 誘致企業と既存企業等の連携による地域内での取引拡大、競争力ある産業人材の育成【目標:技術力向上等講習会受講者 200人(現状H26:102人)】
- 観光客誘致や都市地域との交流、農林水産物の消費拡大【目標:観光客入込数 3,000,000人(現状H26:2,754,894人)】

<管内の現状>

首都圏に隣接する地理的条件・交通条件を生かし、震災・原子力災害からの復興を図る必要がある。

企業誘致の効果を既存企業に波及させ、更なる産業振興を図る必要がある。

原子力災害に起因する観光客の減少、定住・二地域居住や都市農村交流の低迷等へ引き続き対応していく必要がある。

<管内の課題>

県全体の復興を牽引する、地域特性を生かした魅力ある地域づくり

誘致した企業間、及び誘致した企業と既存企業との一層の連携による地域内での取引拡大、競争力ある産業人材育成

首都圏に隣接する地理的優位性を生かした観光客誘致や都市地域との交流、農林水産物の消費拡大

<H27事業の計画>

①地域経営分

事業名:しらかわ産業人材育成支援事業(事業費25,000千円)

【目的】

企業立地補助金等を活用した工場の新・増設が県内で一番旺盛な県南地域において、産業人材の確保・育成が緊急に求められている状況を踏まえ、より現場の要請に応じられるような体制を早急に構築する。

【事業概要】

- ・産業サポート白河によるものづくり講習会(企業の技術力の向上)
- ・企業間ネットワーク構築と就業の促進(企業データベース更新、ガイドブック作成、大規模産業見本市出展)
- ・企業との共同による高等学校実習機材更新

【ねらい】

工場の新・増設が県内で一番旺盛な県南地域において本事業を実施することにより、企業進出を人材面からサポートし、復興に欠かすことのできない本県の産業振興を推進する。

【効果】

- ①産業の復興を支える人材を効果的に育成・輩出。②県南地域への企業の更なる進出と地元企業の底上げにより、雇用状況の改善③県外への人口流出の抑制に寄与。



塙工業高校への機材引き渡し

②過疎・中山間連携事業

事業名:「しらかわで楽な暮らし」定住・二地域居住推進事業

- ・相談窓口「ラクラスしらかわ」設置
- ・移住支援
- ・首都圏等でのPR
- ・田舎暮らし体験会



移住希望者への対応

③一般枠(民間等)

事業名:NISHIGOバイシクルフェス

- ・山岳環境を生かした複数種目のサイクルイベント
- ・ヒルクライム(500人)、エンデューロ(親子等100組)など、2日間にわたり県内外から多くの参加者を見込む



赤面山

④市町村枠

事業名:はなわの魅力を生かした特産品開発事業

- ・旧焼酎工場の活用による地域の素材を使った酒類の企画及び試作、消費者ニーズ調査等



旧焼酎工場(塙町)